

# ASAHI BOND

JIS A 6024 「建築補修用注入エポキシ樹脂」硬質形中粘度形 適合品  
NTT（日本電信電話株式会社）注入用エポキシ樹脂規格適合品

## アサヒボンド 573

アサヒボンド573は、揺変性を備えたエポキシ樹脂系注入材です。注入時には優れた流動性を示しますが、作業完了後は注入された材料が流失しない特性を持っています。裏面シールが不可能なひび割れにも安心して施工が行えます。また、このような特性が活かせるアンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法（残存浮き部への注入）に適しています。

### 特 長

1. 揺 変 性 狭い間隙にも充填し易くダレ止まりが良い。0.05mmの間隙にも充填でき1.5～2mm程度の垂直間隙（ひび割れ）でも流失を起こしません。
2. 優れた接着力 コンクリート・モルタル・鋼材等に優れた接着力を発揮します。
3. 高 強 度 機械的強度が大きい。
4. 無 収 縮 硬化時の収縮が殆ど有りません。

### 用 途

1. 裏面シールができないひび割れの補修
2. 仕上げ材の浮き補修（全面注入工法の残存浮き部分の注入）
3. コンクリート構造物の間隙充填やジャンカ補修
4. エポキシ樹脂モルタルのタックコート





## ■ 性 状

項目	573R (一般用)		573W (冬用)	
	主 剤	硬化剤	主 剤	硬化剤
外 観	乳白色液状	茶褐色液状	乳白色液状	茶褐色液状
	混合物：淡黄褐色液状		混合物：淡黄褐色液状	
主 成 分	エポキシ樹脂	変性ポリアミドアミン	エポキシ樹脂	変性ポリアミドアミン
比 重	1.12	0.98	1.12	0.98
	混合物：1.07		混合物：1.07	
配 合 比	主剤：硬化剤＝2：1（重量比）		主剤：硬化剤＝2：1（重量比）	
可使時間	約60分（20℃、500g）		約30分（20℃、500g）	

## ■ 性 能

JIS A 6024（建築補修用注入エポキシ樹脂）による品質試験

試験項目		試験条件	573R(一般用)	573W(冬用)	JIS品質規定	
粘 性	粘度 (mPa・s)	23±0.5℃	6400	5500	5000～20000	
	チキソトロピック インデックス	23±0.5℃	4.7	4.2	5±1	
	スランプ性(mm)	15±2℃	-	-	-	
30±2℃		-	-	-		
接着強さ (N/mm)	標準条件		10.4	9.0	6.0以上	
	特殊 条件	低温時	-	9.5	3.0以上	
		湿潤時		4.0	4.0	3.0以上
		乾湿繰り返し時		6.8	6.7	3.0以上
硬化収縮率 (%)		標準条件	1.4	1.3	3以下	
加熱変化	質量変化率 (%)	-	2.7	2.4	5以下	
	体積変化率 (%)	-	2.9	2.3	5以下	
引張強さ (N/mm)		標準条件	43.0	45.5	15.0以上	
引張破壊伸び (%)		標準条件	3.3	1.9	10以下	

## ■チキソトロピックインデックス

液体の粘度は回転粘度計で測定されます。右の写真のように液体の中でローターを一定速度で回転させ、その粘性抵抗によるトルクをスプリングバランスによって測定します。同一ローターにより毎分2回転と20回転で測定した場合、揺変性が無い液体では粘度に変化がありません。揺変性を持つ液体はローターの回転速度により粘度が変化します。チキソトロピックインデックスは次の式により求められます。

$$TI = \frac{V_r}{V_o}$$

ここに  $TI$  : チキソトロピックインデックス

$V_o$  : 20rpmにおける粘度

$V_r$  : 2 rpmにおける粘度

アサヒボンド573のチキソトロピックインデックスは約 4~5 です。この数値は20rpmにおける粘度が2 rpmの場合に比べ、4~5 分の1に低下していることを表しています。このような性状が、「充填し易く流失しない」という作業性を与えています。



B型回転粘度計

## ■使用方法 (代表的な工法)

### アサボンスクイズ工法 (自動式低圧エポキシ樹脂注入工法)

補修範囲の確認	◆目視及びクラックスケール等によりひび割れ状況を確認し、補修範囲を決定します。
↓	
清 掃	◆ひび割れに沿って汚れを除去し、清掃します。
↓	
マ ー キ ン グ	◆注入孔位置のマーキングを行う。注入器の取付けピッチは、200~300を標準とします。
↓	
注入器の取付け	◆マーキングに従いスクイズプレートを取付けます。 取付け用接着剤 スクイズパテ (または505、576等)
↓	
シ ー ル	◆ひび割れ部をシールします。 シール材 スクイズシーラー (または505、576等)
↓	
計 量 ・ 混 練	◆アサヒボンド573を、主剤2、硬化剤1 (重量比) の割合で計量し、均一になるまで混練します。1回の混合量は可使用時間内で使いきれれる量とします。
↓	
注 入	◆グリスポンプ等により、注入材をスクイズプレートに充填します。注入状態を確認し、状況により追加注入を行います。
↓	
養 生	◆注入材が硬化するまで適切な養生を行います。
↓	
仕 上 げ	◆注入材の硬化を見計らい、仮止めシール材及び注入器具を撤去し、清掃を行います。

## ■使用上の注意

◆573R（一般用）と573W（冬用）の使用区分は、原則として次の通りです。

	使用温度の目安	使用時期の目安
一般用	10～35℃	3月～11月
冬期	5～15℃	11月～3月

- ◆材料は、直射日光の当たらない場所に保管して下さい。
- ◆器工具・衣服等に付着した場合は、未硬化のうちに溶剤を含ませたウエスで拭き取って下さい。
- ◆低温（5℃未満）時や雨天（屋外施工時）に施工する場合は、硬化不良や接着不良の原因になりやすいので、施工の際は充分ご留意下さい。
- ◆皮ふに直接触れたり、蒸気を吸い込むと、体質により皮ふ障害を起こす場合がありますので、以下の点に注意してご使用下さい。
  - ・コンクリート槽のように換気の悪い作業環境の場合は、強制換気装置をご使用下さい。
  - ・施工中は必ず保護手袋を着用して下さい。
  - ・皮ふに直接触れた場合は、直ちに中性石けんで洗い落として下さい。
  - ・眼に入った場合は、大量の流水で洗い流し、直ちに医師の診察を受けて下さい。

## ■梱包容量

6 kg/セット（主剤4 kg、硬化剤2 kg） 1箱2セット入り



# ASAHI BOND

## アサヒボンド工業株式会社

本社 〒173-0081 東京都板橋区大谷口北町3-7 TEL (03) 3972-4829  
新潟工場 〒952-0012 埼玉県新座市物中2丁目15番43号 TEL (048) 489-6611  
大阪営業所 〒544-0011 大阪市東淀川区田島4-8-9 TEL (06) 8753-3541  
北東北出張所 〒017-0685 秋田県大館市長倉22番 TEL (0186) 43-4211  
東北出張所 〒982-0005 仙台市太白区鶴山谷地田舎14-25 TEL (022) 247-8131  
広島連絡事務所 〒730-0034 広島市西区南郷町7丁目12番3号 TEL (082) 252-6411  
FAX本社 (03) 3972-4858 大阪営業所 (06) 8753-3543 北東北出張所 (0186) 43-4211  
東北出張所 (022) 285-2019 広島連絡事務所 (082) 252-4404

